

新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会 作業部会（平成 30 年 7 月 25 日開催）で出された意見（要約）

- エコプラザ（仮称）検討市民会議で使用している言葉が難しく、一般の市民には理解されないと思う。パブコメを取る際には、多くの市民にわかりやすく理解しやすい表現の工夫をしてほしい。表現を変えられないのであれば、用語集を添付してほしい。
- エコプラザ（仮称）は、クリーンセンターの建替えから生まれた事業である。環境全般を取り扱うことに異論はないが、ごみ減量、低炭素社会という施設・周辺整備協議会で考えた目標と他分野とのつながりがわかるような施設として欲しい。
- 学び方が重要だと思う。知識伝達型ではなく、なぜ？ どうして？ から学ぶきっかけをつくるコーディネーターが必要だと思う。
- 「知らないことを知るのは楽しい」を体感できる施設に。
- How to ではなく、原理を学ぶことのできる施設に。
- 3R 連続講座の一環で、クリーンセンターの屋上菜園で、生ごみを埋めて土ごと発酵する実験をやっている。実際に生ごみが分解されて土がさらさらになる様子を受講生が観察している。この事例のように、体験から学ぶことができるプログラムがあるとよい。
- 運営者の力量が問われるのでは・・・。
- 行政も地域もいっしょになって人材を育てていけると良い。
- SDG s を達成する施設になれば良い。